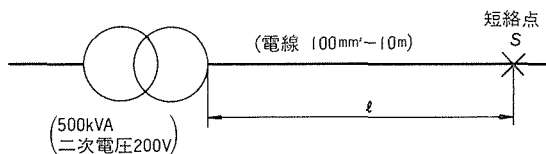


三相回路に対する早見表

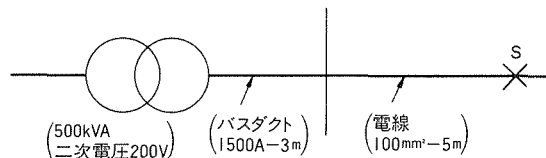
該当する変圧器容量と二次電圧の早見表を用い、電線の太さと短絡点までの距離（ ℓ ）により推定短絡電流対称値が簡単に求められます。

例 (1)



付図14を使い、短絡電流は23kAとなります。

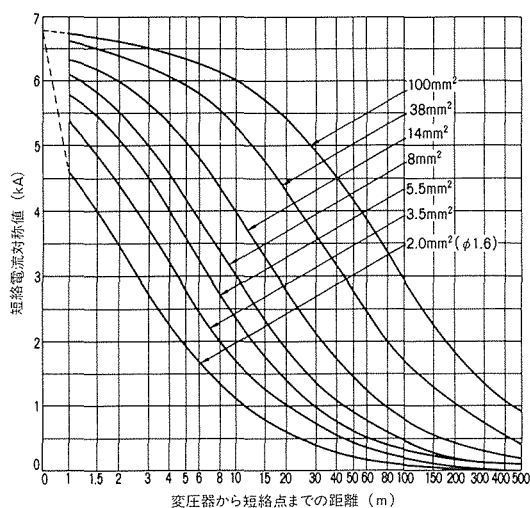
例 (2)



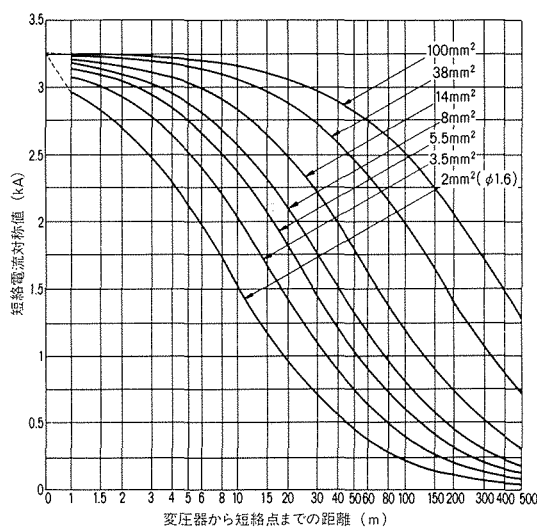
早見表作成上の条件

1. 変圧器は付表1の標準変圧器とし、電源総合インピーダンス付表4を採用。
2. バスダクトのインピーダンスは付表7(50Hzの場合)を採用。
3. 電線のインピーダンスは付表8(50Hzの場合)のうちICケーブル金属パイプ配線を採用。

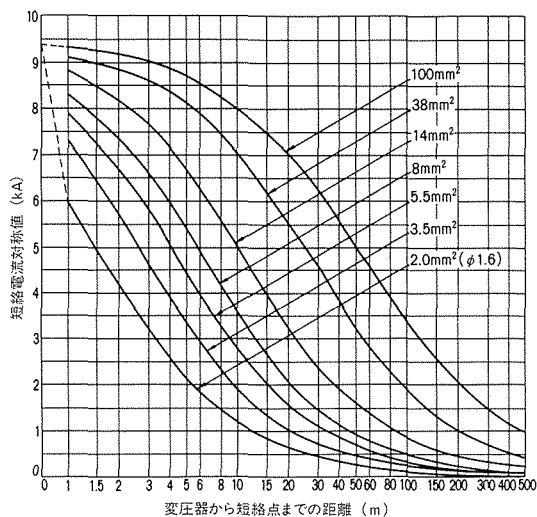
例(1)と同様に100mm²-5mでは 29kA……① ①、②のうち小さい方の値29kAが
1500Aバスダクト-8mでは 35.5kA……② S点の推定短絡電流です。



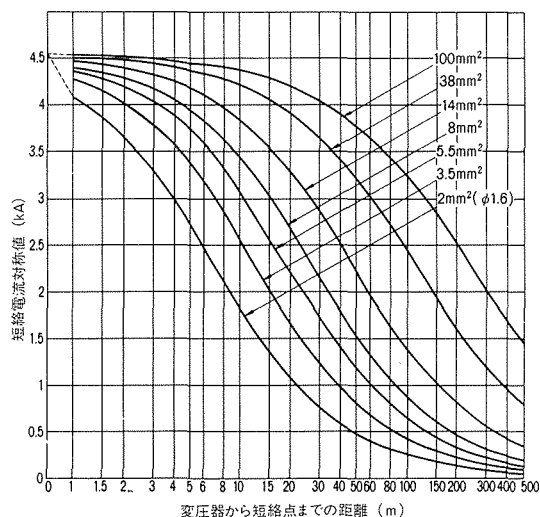
付図2 三相変圧器容量50kVA、二次電圧200V



付図3 三相変圧器容量50kVA、二次電圧415V



付図4 三相変圧器容量75kVA、二次電圧200V



付図5 三相変圧器容量75kVA、二次電圧415V